

# 原子力産業新聞

1996年 3月14日

平成 8 年 (第1832号)

毎週木曜日発行

1部 220円(送料共)

購読料 1年分前金 9500円

(当会会員は年会費13万円に本紙購読料の9,500円を含む。1口1部)

昭和31年 3月12日第三種郵便物認可

発行所 日本原子力産業会議  
新聞編集室

〒105 東京都港区新橋1丁目1番13号 (東新ビル6階)  
〒105 東京都港区新橋1丁目18番2号 (明宏ビル別館2階)

電話03(3508)2411(代表) 郵便振替00150-5-5895番  
電話03(3508)9027(代表) FAX03(3508)9021

## 原子炉廃止措置で検討開始

### 実施に向け体系作り

総合エネ調原 今秋にも取りまとめへ  
子力部会小委

通産省・資源エネルギー庁は総合エネルギー調査会(通産相の諮問機関)原子力部会の「原子炉廃止措置対策小委員会」(委員長北村博典吉東大教授)を十九日に再び始動することを明らかにした。今後具体的な問題となる原子炉の廃止措置について、安全かつ適切な方策を見定めたうえで、安全確保のための手続を明確化するとともに、解体廃棄物の処理処分実施にあたっての規制体系を検討するのがねらい。同小委は昭和六十一年七月以来、約十二年ぶりの再開となる。今後月一回程度のペースで会合し、今秋にも報告書をとりまとめ、原子力部会に報告する。

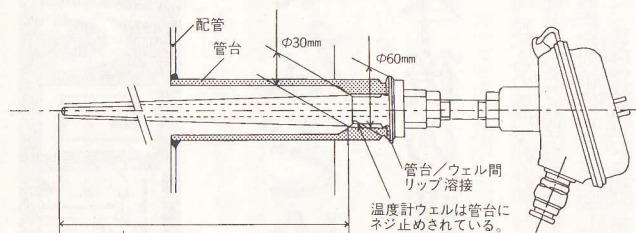
わが国でも昭和四十一年に措置が現実問題に浮上して、初の商用原子力発電所として日本原子力発電の東海発電所が運転を開始して以来、運転期間が二十年以上になるものもでてきている。このためとしており、総合エネルギー調査会原子力部会も密閉管理の処理処分方策が明確になっ

動燃事業団は十一日、一九八五年のフランスの高速増殖炉(FBR)実証炉「スーパーフェニックス」の二次系温度計取付け溶接部からのナトリウム漏洩事故に関して、一月に現地調査を行った結果を公表した。この調査は同月三十一日に三名の動燃職員が「スーパーフェニックス」サイトで調査・情報収集を行ったもの。動燃による一九八五年にナトリウム流動試験中に二回の温度計溶接部からの微量のナトリウム漏洩を経験しているが、

「スーパーフェニックス」炉の温度計

### 溶接部からNaが漏洩

動燃が現地調査 さや管長を短縮して改善も



スーパーフェニックス 2次系温度計取付け概念図

イトで調査・情報収集を行ったもの。動燃による一九八五年にナトリウム流動試験中に二回の温度計溶接部からの微量のナトリウム漏洩を経験しているが、

動燃は一九八四年に機器据付けを完了し、翌年に燃料の装荷と並行して行われていた機能試験中に、二次系配管の保温材表面から突き出た温度計取付け部の固有振動

の溶接部が振動が増幅されていることが分かり、四十五本のうち振動の少ない本を三本を除く三十本に短縮(四十四・五本は短縮)したものに置き替えたという。これにより振動数は百ヘルツから百七ヘルツに、振幅は四十ミクロンから十ミクロンとなり、対策の妥当性が確認されたとしている。



電技術機構でも  
体技術など広範  
進めている。小  
これらの技術開  
ビュースし、現  
安全な廃止措置  
が検証する。  
置の期間中の安  
ては、原子力安  
めたJ P D R 解  
え方を参考にし  
の廃止措置を安  
での基本的な視  
。同時に廃止措  
スにおける安全  
を明確にして、  
のあり方につい  
について、放  
の分類、発生量  
。またそれに基  
棄物の中期的な

リウムの漏洩が  
れた。漏洩箇所  
ル取付のため  
ル(ウェルは管  
ざれている)間  
た。漏洩した微  
ムは凝固したこ  
系ポンプを最低  
回転数を下げ、  
ていたが、再び  
取付け部でナト  
自視で確認され  
明では、以前か  
動が目立ってい  
意していたとの  
の漏洩で温度計  
キリしたとして

らの漏洩に係わ  
から入手し、そ  
んじゅ」では、  
の流体力および  
強度を確認する  
マン渦との共振  
め温度計ウェル  
教とカルマン渦

累積発生量の見通しも明らか  
にする。そのうえで、適切な  
処理処分の基本方向を検討す  
る。またそのための規制体系  
についても、現行の整備状況  
などを踏まえて今後の課題を  
洗い出す考えだ。なお、これ  
までの見積もりでは一般に百  
十万KWクラスの原子力発電  
所で五十から五十五万程度  
の解体廃棄物が発生すると考  
れている。そのほとんどが自  
然の放射能レベルと変わらない  
コンクリート等の廃棄物と  
みられており、解体廃棄物の  
具体的な分類をどうするか  
が注目される。

限延長された核不拡散条約  
(NPT)および地域協力の  
ベースを提供する観点からの  
同条約の重要性が評価され  
た。また近隣アジア地域の急  
速な経済発展と地球規模の環  
境問題を考慮し、原子力開発  
利用が重要な意義を持つこ  
と、参加各国の間に相互信頼  
を醸成していく地域フォーラ  
ムとして当会議が有効である  
ことを確認した。

## 原子力安全文 化も議論対象に

アジア原子力  
国際会議が開幕

原子力委員会が主催して五  
日から東京で開かれていた  
「第七回アジア地域原子力協  
力会議」が七日、閉幕した。  
参加したのは初めて正式メン  
バーとなったベトナムを含め  
九か国。  
今回の会議では、まず無期

本についても同様の検査をす  
ることになっている。現在のと  
ころ、なぜグループだけにこ  
うした損傷が起こったのかは  
分かっていない。

## 別の温度計も 損傷を確認

動燃「もんじゅ」

動燃事業団は十二日、「も  
んじゅ」のナトリウム漏洩事  
故に関連して、二次系ナトリ  
ウム配管グループの中間熱交  
換器入口付近の温度計のウェ  
ル(熱電対の筒)部の超音波  
探傷を実施したところ、ナト  
リウム漏洩を起した温度計  
のさや管が破断した所と同じ  
ような箇所でもナトリウムの流  
れ方向の部分と下流部分の二  
か所に一ミリの小さな損傷  
があるのが確認されたと発表  
した。

一方、消失している温度計  
のさや管を探査している動燃  
は、十五日からグループの加  
熱器ベント管の切断を開始す  
る。実際の探索は二十四日か  
らの予定。

今回、損傷が見つかった温  
度計はウェル部を十五日に切  
り出し、再検査した後、二十  
日にも茨城県の動燃大洗工学  
センターに送って詳細な検査  
を実施することになっている。

## 主なニュース

- 安全委が耐震国際フォーラム(2面)
- 六ヶ所村長が地域振興で講演(2面)
- 米、プル利用も処分選択肢に(3面)
- IAEA、ムルロワで調査へ(3面)
- 旧ソ連科技センター活動情況(4面)

# 原子力工業

4月号 好評発売中!

定価1600円(税込)送料実費 年間購読料19,200円

## ●特別記事

## 茨城県は原子力と どう取り組んできたか

……茨城県 中田宏勝、平井保夫/野村総合研究所 辻 直志

高速増殖原型炉「もんじゅ」事故の技術論  
●仏つくって魂入れず……技術評論家 桜井 淳  
(Report)

核不拡散国際フォーラム(上)  
動力炉・核燃料開発事業団、核不拡散対応研究会事務局編

## 原発システム安全論

桜井 淳著 四六判 定価2000円(税込)送料実費

## 原発の「老朽化対策」は十分か

桜井 淳著 B6判 定価1340円(税込)送料実費

## 基礎高速炉工学

堀 雅夫監修 B5判 定価9000円(税込)送料実費

## ◆2刷発売中

## 原子力辞典

A5判 上製ケース入り  
定価25,000円  
(税込)送料実費  
安 成弘監修 原子力辞典編集委員会編  
☆欧文索引(英語・独語・仏語・ロシア語)付き。(内容見本呈)

## 放射性物質の人体摂取障害の記録

一過ちの歴史に何を学ぶか一

松岡 理著 A5判 定価1900円(税込)送料実費

## 核燃料サイクル関連核種の安全性評価

一比較放射毒性学一

松岡 理著 B5判 定価18000円(税込)送料実費

## プルトニウム・クライシス

一核燃料サイクル計画の虚構と現実一

武藤 弘著 四六判 定価1600円(税込)送料実費

## プルトニウムの安全性評価

松岡 理著 B5判 定価15000円(税込)送料実費

日刊工業新聞社出版局  
(〒102)東京都千代田区九段北一―八―十  
03(3222)7131  
Fax 03(3223)8504